

3. 第2期ビジョンで掲げた施策や取組の進捗状況

第2期ビジョンでは、「自然と調和し、信頼と親しみのある水道を未来へつなぐ」という基本理念の下、水道事業の状況や課題を踏まえて政策目標及び実現方策を設定し（表 3.1）、これらを実現するための施策や取組を決定しました。

これら施策や取組の進捗状況及び今後の方針について以降に示します。

表 3.1 第2期ビジョンにおける政策目標及び実現方策

分類	政策目標	実 現 方 策	
		施策（大区分）	施策（小区分）
安全	安全で おいしい水道	施策1 水道水源の保全	1-1 水源・水源林の環境保全
			1-2 水源保全に関する制度の活用検討
		施策2 水道水質の維持向上	2-1 給配水過程での水質劣化防止
			2-2 水質管理体制の強化
強靱	災害や事故に強い しなやかな水道	施策3 施設の耐震化	3-1 建造物の耐震化
			3-2 管路の耐震化
		施策4 危機管理体制の強化	4-1 緊急時のバックアップ機能の強化
			4-2 迅速な復旧・応急給水体制の整備
持続	健全な経営で 信頼される水道	施策5 水道システムの効率化	5-1 水道システム再構築の検討
			5-2 配水有効率の向上
		施策6 財政基盤の強化	6-1 適正な施設投資
			6-2 事業形態の最適化
		施策7 技術基盤の強化	7-1 技術者の確保と人材の育成
			7-2 情報化の推進による業務の効率化
		施策8 給水サービスの向上	8-1 情報公開とPRの推進
			8-2 利用者サービスの向上
		施策9 環境に配慮した事業の推進	9-1 省エネルギーの推進
			9-2 資源リサイクルの推進

施策や取組の進捗状況一覧(1／3)

第2期塩尻市水道ビジョン 各種施策・取組の進捗状況と今後の方針				基本理念 自然と調和し、信頼と親しみのある水道を未来へつなぐ																
実 現 方 策				実 施 工 程											進 捗 状 況					
施 策（大区分）	施 策（小区分）	項 目	概 要 や 目 標		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	現 状（R6時点）		今 後 の 取 組 の 方 向 性 等			
施策1 水道水源の保全	1-1 水源・水源林の環境保全	①水源・水源林の環境保全活動の実施	水源涵養林の機能維持など、関係団体と連携して水源及び水源林の環境保全活動を実施する。	当初計画												巡回監視を継続中。	巡回監視を継続するほか、市の環境水道課や関係団体と連携しつつ検討を進めていく。			
		②水源監視の徹底	水源状況の監視を徹底するとともに、監視カメラの設置等も検討する。	進捗実績																
	1-2 水源保全に関する制度の活用検討	①水道水源保全地区制度の活用の検討	塩尻市の水道水源地について、「水道水源保全地区」の指定について検討する。	当初計画												市の生活環境課と情報を共有しつつ検討中。	環境審議会での審議も視野に検討を継続。			
		②水資源保全地域制度の活用の検討	塩尻市の水道水源地について、「水資源保全地域」の指定について検討する。	進捗実績																
施策2 水道水質の維持向上	2-1 給配水過程での水質劣化防止	①残留塩素管理の徹底	残留塩素の管理を徹底し、水質の安全性を確保しつつ、おいしい水道を目指す。	当初計画												毎日検査等で管理を徹底。	毎日検査等を継続し、より効率的かつ効果的な管理体制の構築を目指す。			
		②送配水施設の定期的な洗浄	配水池、配水管を定期的に洗浄し、配水過程での水質劣化を防止する。	進捗実績																
	2-2 水質管理体制の強化	①水安全計画の運用継続及び見直し	水安全計画の運用を継続するとともに、見直し・改善を継続的に実施する。	当初計画												松塩用水の受水量増加が現実的な見通しとなり、床尾浄水場を近い将来に廃止する方向となったため、新たな水道システムの検討に注力。既存の水安全計画の運用を継続中。	新たな水道システムや水質リスク等を踏まえ、継続的に水安全計画を見直ししていく。			
		②水質検査の充実	水安全計画や水質基準見直しなどに合わせ水質検査計画（検査地点・項目・頻度等）の充実を図る。	進捗実績																
		①水安全計画の運用継続及び見直し	水安全計画の運用を継続するとともに、見直し・改善を継続的に実施する。	進捗実績																
		②水質検査の充実	水安全計画や水質基準見直しなどに合わせ水質検査計画（検査地点・項目・頻度等）の充実を図る。	進捗実績																
施策3 施設の耐震化	3-1 構造物の耐震化	①上西条浄水場管理棟の耐震化	上西条浄水場管理棟を更新する。更新計画を令和2年度に策定する。	当初計画												令和4年度より上西条浄水場の全面更新開始。 令和8年度より沈澱池、急速ろ過池、浄水池の更新を予定。	令和12年度、上西条浄水場の全面工事竣工予定。			
		②中央監視設備の移転更新	上西条浄水場管理棟の耐震化に併せ、中央監視設備を床尾浄水場から上西条浄水場に移転更新する。	進捗実績																
		③主要施設の耐震化	浄水施設及び主要配水池の耐震性を改めて見直し、必要に応じて耐震化を図る。	進捗実績																
	3-2 管路の耐震化	①主要管路の耐震化	重要度や老朽度の高い管路から優先して実施し、効果的な耐震化を図る。	当初計画												令和2年度に「アセットマネジメント計画」を策定。 管路更新の優先度を定量的に評価し、それに基づき順次管路更新を実施。	財政面や人材面のバランスをとりつつ、今後も継続して管路更新等を実施していく。			
		②水管機の耐震化	適切なタイミングで水管機を更新する。	進捗実績																
		③耐震管の採用	主要管路や老朽管の更新に合わせて採用し、管路耐震性の向上を図る。	進捗実績																
		①主要管路の耐震化	重要度や老朽度の高い管路から優先して実施し、効果的な耐震化を図る。	進捗実績																
		②水管機の耐震化	適切なタイミングで水管機を更新する。	進捗実績																
施策4 危機管理体制の強化	4-1 緊急時のバックアップ機能の強化	①自家発電設備の整備	必要に応じて各施設に自家発電設備の設置を検討する。	当初計画												令和2年度に「水道施設自家発電設備設置に係る整備計画」を策定。 令和7年度以降に工事実施予定。	令和7年度：小管部浄水場 令和9年度：楢川浄水場			
		②水系間連絡体制の見直し	水系間の連絡体制の見直し（水道システム再構築と併せて実施）。	進捗実績																
		③三才山沢水系の送水系統再構築	三才山沢から善知島系への送水経路を整備し、水運用の効率化・安定化を図る。	進捗実績																
		④他事業体や関係団体との水融通に関する連携強化	渇水時の連携等について他事業体や水利関係者と協議を進めていく。 新規水源の開発にも取り組んでいく。	進捗実績																
	4-2 迅速な復旧・応急給水体制の整備	①配水ブロック化の検討	各配水系での配水ブロック化について検討する。	当初計画												現時点でブロック化に関する具体的な計画等は未策定。	管路の更新（耐震化）等と並行して検討を進めていく。			
		②危機管理マニュアルの見直し及び訓練の実施	危機管理マニュアルを適宜見直し、それに基づき訓練等を継続的に実施する。	進捗実績																
		③応急給水体制の見直し	応急給水拠点の箇所等、応急給水体制の見直しを随時図っていく。	進捗実績																
		①自家発電設備の整備	必要に応じて各施設に自家発電設備の設置を検討する。	進捗実績																
		②水系間連絡体制の見直し	水系間の連絡体制の見直し（水道システム再構築と併せて実施）。	進捗実績																
		③三才山沢水系の送水系統再構築	三才山沢から善知島系への送水経路を整備し、水運用の効率化・安定化を図る。	進捗実績																
		④他事業体や関係団体との水融通に関する連携強化	渇水時の連携等について他事業体や水利関係者と協議を進めていく。 新規水源の開発にも取り組んでいく。	進捗実績																
		①配水ブロック化の検討	各配水系での配水ブロック化について検討する。	進捗実績																

施策や取組の進捗状況一覧(2／3)

第2期塩尻市水道ビジョン 各種施策・取組の進捗状況と今後の方針				基本理念 自然と調和し、信頼と親しみのある水道を未来へつなぐ																
実 現 方 策				実 施 工 程											進 捗 状 況					
施 策（大区分）	施 策（小区分）	項 目	概 要 や 目 標		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	現 状（R6時点）		今 後 の 取 組 の 方 向 性 等			
施策5 水道システムの効率化	5-1 水道システム再構築の検討	①床尾浄水場更新基礎調査の実施	床尾浄水場を中心に施設の状況を再調査し、施設の更新可否・方法等を検討する。	当初計画												松塩用水の受水量増加が現実的な見通しとなり、床尾浄水場を廃止しても問題ないと判断されたことから、更新可否等の調査は実施せず。	床尾浄水場を廃止する方向で検討を継続中。			
		②将来の水道システムの見直し	将来の水需要や事業環境を見据え、将来の水運用のあり方を検討する。 （床尾浄水場の更新、松塩用水や周辺事業体との連携や融通等）	進捗実績													松塩用水の受水量増加が現実的な見通しとなり、床尾浄水場を近い将来に廃止する方向で検討中。 上西条浄水場の更新に伴う水運用は検討済み。	水量規模が小さく、かつ水系間の融通が困難な水系についても検討を進める。		
		③水道施設再構築計画の策定	更新基礎調査、アセットマネジメントに基づき、施設更新計画を策定する。	当初計画													松塩用水の受水量増加が現実的な見通しとなり、床尾浄水場を近い将来に廃止する方向で検討中。 上西条浄水場の更新に伴う水運用は検討済み。	広域化の動向も踏まえ、給水の安定性を維持しつつ施設の効率化を目指して検討を進める。		
		④床尾浄水場施設の延命化	床尾浄水場の今後のあり方の結論が出るまで、補修等により延命化を図る。	進捗実績													松塩用水の受水量増加が現実的な見通しとなり、床尾浄水場を近い将来に廃止する方向で検討中。	床尾浄水場を廃止する方向で検討を継続し、最小限の修繕対応を実施。		
	5-2 配水有効率の向上	①漏水調査の継続的な実施	漏水防止によるコスト削減を図るため、漏水調査を継続して実施する。	当初計画													定期的に漏水調査を行い、必要に応じて更新や修繕等の対応を実施中。	定期的な漏水調査を継続。 有収率は令和元年度以降、高水準を維持しており今後もさらなる有収率の向上を目指す。		
		②老朽管の更新	漏水防止によるコスト削減を図るため、特に漏水の多い塩化ビニル管を中心に更新を進める。	進捗実績													漏水調査の結果も踏まえつつ、優先度を考慮し計画的に管路更新を実施中。	計画的かつ着実に管路更新を進める。 有収率は令和元年度以降、高水準を維持しており今後もさらなる有収率の向上を目指す。		
施策6 財政基盤の強化	6-1 適正な施設投資	①アセットマネジメントの活用による効果的かつ効率的な投資	アセットマネジメントの活用により、施設の重要度を考慮した効果的・効率的な投資を進めていく。	当初計画												令和2年度に「アセットマネジメント計画」を策定。 施設の更新需要と財政収支の見通しを把握し、これに沿った計画的な管路更新を実施中。	引き続き施設更新を実施するとともに、水道施設の再構築や物価の変動等を踏まえ、令和12年度を目途に見直しを行う。			
		②水道施設台帳の改良による施設更新判断の最適化	水道施設台帳を継続的に改良し、これを有効活用し更新要否の判断を適正化する。	進捗実績													施設台帳改良に関する検討・改良 「長野モデル」に準じた施設台帳の改良	継続的な見直し・改良 維持管理記録の蓄積	令和3年度に水道施設台帳の「長野モデル」が公表され、それに準じて再整備を行った。	水道施設台帳の内容の充実を図り、修繕履歴等のデータを蓄積させることで、アセットマネジメント計画の見直し等に活用する。
		③建設工事に係るコスト削減や事務改善による経費削減	共同施工、工事施工期間の調整、事務改善などによるコスト削減や経費節減に努める。	当初計画													建設工事のコスト削減のための取組・工夫を実施。	今後も継続して財政状況の良化を図る。		
	6-2 事業形態の最適化	①将来を見据えた適正な水道料金水準の検討	将来の水需要、施設更新需要を見据え、適正な水道料金のあり方について検討を継続する。	当初計画													アセット 審議会等を通した継続的な検討	令和2年度に「アセットマネジメント計画」を策定。 施設の更新需要と財政収支の見通しを把握した。	令和7年度に水道事業経営戦略を改定予定。 「塩尻市水道料金等審議会」での審議も踏まえ、料金改定について検討を進める。	
		②周辺事業体との連携の検討	水融通や危機管理体制等について周辺事業体及び松塩水道との連携を図る。	進捗実績													アセット 定期的な審議会開催、適正料金の検討	経営戦略 適正料金の検討継続	松塩地域水道事業広域化研究会へ参加。	引き続き広域連携に向けた協議を推進。
		③民間活力の活用検討	民間企業への委託が可能かつ効率性の高い分野を検討する。	当初計画														民間活力の活用について検討を進めてきたが、コスト面での増加が懸念され実現はしていない。	先進事例や周辺事業体の状況を踏まえつつ、本市にとって効果的な方法の検討を進める。	
施策7 技術基盤の強化	7-1 技術者の確保と人材の育成	①人員配置の適正化	将来を見据えた適正な人員配置を検討する。	当初計画													人員確保に関する要望を人事部局へ提出。	官民連携やDXの推進による業務効率化を図り、適切な人員配置・体制についても継続的に検討する。		
		②人材育成計画の策定・運用	効果的かつ効果的な技術継承のため、人材育成計画を策定し育成する。	進捗実績													人員確保に関する人事部局への要望 定期的な研修の実施	要望継続、適正な人員配置の検討継続 将来を見据えた人材育成計画の検討、実施	定期的な研修の実施。 将来を見据えた人材育成計画の検討、実施を進める。	
	7-2 情報化の推進による業務の効率化	①各種手順書やマニュアル等の整備	各種作業に関する手順書やマニュアル等を作成し、技術の標準化を図る。	当初計画														既存の作業手順書やマニュアル等の見直しを実施。	継続して見直しを実施するとともに、未整備の業務・作業に関する手順書の作成を進める。	
		②水道施設台帳の改良	マッピングシステムとの連動など、水道施設台帳の精度向上・改良を図る。	進捗実績													施設台帳改良に関する検討・改良 「長野モデル」に準じた施設台帳の改良	継続的な見直し・改良 マッピングシステムとの連動の検討	令和3年度に水道施設台帳の「長野モデル」が公表され、それに準じて再整備を行った。 マッピングデータとの連動には至っていない。	修繕履歴等のデータを蓄積させ、水道施設台帳の内容の充実を図る。 マッピングデータとの連動についても検討を進める。
		③新たな技術による業務効率化の検討	IoTやAI等の新しい技術による業務の効率化を図ることを目標に、情報収集を継続する。	当初計画														スマートメーターに関する情報収集、導入検討を行い、令和6年度から一部地域での試験運用を開始。	試験運用を踏まえたスマートメーター導入効果の検証。 衛星画像による漏水危険箇所特定など、積極的なDXの推進。	
					進捗実績												スマートメーター導入検討、試験運用（限より） 国の施策を踏まえて検討継続		積極的なDXの推進	

施策や取組の進捗状況一覧(3／3)

第2期塩尻市水道ビジョン 各種施策・取組の進捗状況と今後の方針				基本理念 自然と調和し、信頼と親しみのある水道を未来へつなぐ																
実 現 方 策				実 施 工 程											進 捗 状 況					
施 策（大区分）	施 策（小区分）	項 目	概 要 や 目 標		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	現 状（R6時点）		今 後 の 取 組 の 方 向 性 等			
施策8 給水サービスの向上	8-1 情報公開とPRの推進	①広報誌の発行	定期的に発行し、水道事業への関心を高める。	当初計画												広報誌の定期的な発行を継続中。	今後も発行を継続し、より良い広報誌となるよう工夫していく。			
		進捗実績			広報誌の定期的な発行				定期的な発行継続、内容のさらなる充実											
		当初計画														出前講座や施設見学会などを実施中。 各支所での水道車両の展示等も実施。	積極的なイベントへの参加を継続。			
	8-2 利用者サービスの向上	進捗実績			出前講座、見学会、車両展示など				積極的なイベント参加の継続											
		当初計画														広報誌やホームページなどでイメージキャラクターである「分ちゃん」・「嶺ちゃん」を積極的に活用。	今後もイメージキャラクターの活用を継続。			
		進捗実績			広報誌やホームページ等での活用					積極的な活用継続										
8-2 利用者サービスの向上	①インターネットサービスの充実	ホームページの充実を図るとともに、インターネットによる各種手続きの実施について検討する。	当初計画													令和5年度よりインターネットでの開閉栓の受付を開始。	さらなるサービス充実に向けて検討継続。			
	進捗実績			開閉栓申し込みの受付開始、内容の充実					さらなるサービス・情報の充実											
	当初計画														スマートメーター導入に向けた情報収集や検討を実施。 令和6年度より一部地域での試験運用を開始。	試験運用を継続し、その利便性やコストを検証。 水道の検針だけでなく、新たな付加価値提供のための検討。				
8-2 利用者サービスの向上	進捗実績			スマートメーター導入検討、試験運用（既より）					試験運用継続、サービスの拡大											
	当初計画														給水装置の修繕等に関する相談サービスを実施中。	相談サービスの継続に加え、さらなるサービス提供についても検討を進める。				
	進捗実績			相談サービスの実施					サービスの継続、充実化											
施策9 環境に配慮した事業の推進	9-1 省エネルギーの推進	①水道システムの効率化	水道システム再構築事業や有効率向上対策によりエネルギー消費を低減する。	当初計画												水道システム見直しにおける検討	継続的に検討			
		進捗実績			上西条浄水場更新に併せた水運用の検討					省エネな水道システムについて継続的に検討						上西条浄水場の更新に併せ、水道システム全体の見直しを実施。	施設更新の際には消費電力の少ない機器へ変更するなど、可能な限り消費電力の削減に努めていく。			
		当初計画														上西条浄水場の更新工事に際して、太陽光発電や小水力発電の導入を検討したが、コストなどの面から不採用となった。	そのほかの施設においても適用可能性を検討し、環境に配慮した再生可能エネルギーの利用を目指す。			
		進捗実績			上西条浄水場での導入検討⇒不採用					他施設での導入検討										
	9-1 省エネルギーの推進	③省エネルギー機器の導入	ポンプのインバータ化や省エネルギー機器の導入により、エネルギー消費を低減する。	当初計画													設備等の更新時には電力消費量の少ない機器を選定。	電力消費量の少ない機器の選定を継続するとともに、給水量の減少に見合った効率的な設備を選定し、省エネルギーに寄与する。		
		進捗実績			電力消費量の少ない機器を選定					給水量に見合った効率的な機器選定										
		当初計画														ISO14001に沿った環境負荷低減活動を職員一同実践。	今後も環境負荷の低減を意識しつつ、日々の業務を遂行していく。			
		進捗実績			環境負荷低減活動の実践					環境負荷低減活動の継続										
	9-2 資源リサイクルの推進	①浄水汚泥の有効利用	浄水汚泥の有効利用方法について、他部局・民間企業と連携を図りつつ検討する。	当初計画													浄水汚泥の有効利用について検討を進めているが、現時点では実現の 目途が立たず、産業廃棄物として処分している。	引き続き検討を進める。		
		進捗実績			浄水汚泥の有効利用の検討					検討を継続										
		当初計画														現状は建設副産物の一部をリサイクルにより有効利用。 さらなる有効利用の方法について検討中。	引き続き検討を進める。			
		進捗実績			建設副産物の有効利用促進のための検討					検討を継続										